

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む。 —



中田島砂丘での月面ローバ実験

短期大学創立 25 周年記念式典を挙 蒲郡市と連携・協力に関する協定を締結

- 中田島砂丘で月面ローバ実験
- 整備実習用トラック 6 台を新規導入
- 小沢慎治教授 NHK 放送文化賞を受賞
- 各センターからのお知らせ
- 平成 23 年度行事予定表(10 月～3 月)

編集／発行

愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <http://www.aut.ac.jp/>

AUT NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

(平成 23 年 3 月～平成 23 年 9 月)

愛知工科大学自動車短期大学 創立 25 周年記念式典を挙

愛知工科大学自動車短期大学は、蒲郡市と幸田町に跨る当地を校地として、昭和 62 年 12 月に設立された愛知技術短期大学にはじまります。今年 3 月までに 8,108 名が卒業し、同窓生たちは全国各地で活躍しています。

25 周年を記念し、平成 23 年 5 月 28 日(土)に「愛知工科大学自動車短期大学 創立 25 周年及び自動車棟完成記念式」を挙し、自動車産業界や地元経済界、高等学校教諭など約 130 名の方々にご臨席をいただきました。

式典において内田学長は、「この由緒ある校地で、その歴史に比して僅かに 25 年ではありますが、本学が自動車工業に関する技術・技能の教育を展開し、

多くの卒業生を社会に送り出すことによって、工業技術の発展に寄与できますことは、誠に意義深いことと思われま。私たちはこの 25 年の歴史に満足することなく、悠久の未来に向けて、当地の過去をも見据えながら、科学技術とりわけ自動車工業に関する技術・技能を磨き、社会に貢献することを目指すとの決意を新たにします。」と式辞を述べられました。

また、記念講演として、トヨタ自動車株式会社で次世代の自動車開発に取り組まれている、第 2 電子開発部主査 寺谷達夫氏より、「これからのクルマ社会」について、ご講演いただきました。



寺谷達夫氏による記念講演

モニュメント及び記念樹の寄贈

自動車棟の完成披露見学会の後に行われた交歓会では、校友会から寄贈されたモニュメントの除幕式が行われました。このモニュメントは、「響き-Vibration-」というタイトルがつけられ、岡崎市にある酒井石材店に勤務されている卒業生(平成 8 年度)の酒井伸介さんにより制作されました。学生たちが最初に学ぶ 4 ストローク機関「オットーサイクルエンジン」をモチーフに、卒業してからも、また、技

術がどれだけ進化しても“原点”を忘れずに、という想いと魂を込めて制作されました。台座にあるガラスには波紋模様が刻まれ、志と夢を持った学生たちが互いに響きあい、切磋琢磨していった欲しいという願いも込められています。

さらに愛知工科大学技術後援会からは記念植樹として「梅の木(白梅)」を寄贈いただきました。



左：モニュメント制作者の酒井伸介さん
右：校友会会長 谷孝浩さん

蒲郡市との連携・協力に関する協定を締結

愛知工科大学・愛知工科大学自動車短期大学では、前身である愛知技術短期大学の開学(昭和 62 年 4 月)から蒲郡市と連携・協力により、様々な講座の開講や交流などに取り組んできました。

これまでの連携・協力を踏まえ、相互的人的及び物的資源の活用により、

教育、文化、福祉、産業振興、まちづくりなどの分野において、より一層連携・協力を密にし、更なる地域の活性化と人材育成の充実発展に資することを目的に、4 月 6 日(水)蒲郡市役所において、本学の学長と蒲郡市長により連携・協力に関する協定が締結されました。



左：金原久雄市長 右：内田高峰学長

中谷研究室 JAXA と研究委託契約による月面ロボットの研究 中田島砂丘で月面を想定した走行実験

電子制御・ロボット工学科の中谷研究室では、JAXA（宇宙航空研究開発機構）と研究委託契約を結んだ共同研究において、月面探査を目指したローバの開発を行っています。この研究は、2025 年頃に月面に拠点を築く実際のミッションを想定した基礎研究です。

静岡県浜松市の中田島砂丘に 7 月 27 日（水）、試作したローバを持ち込み、学生が中心となって走行実験を行いました。

ローバのミッションは、月面クレータの中にそびえる 2000m 級の山に登って岩石のサンプルを採取し、麓で待機する着陸船に受け渡すことです。月面はレゴリスと呼ばれる非常に細かい砂で覆われ、

かつ斜度は 25 度もあるため、地球上で用いる車ではスタックして使い物になりません。

開発されたローバは、8 輪の弾性車輪を用いて変形することにより設置面積を大きくとり、砂に沈まない設計としたことが特長です。また、障害物を乗り越えるために前進・後進対称型のロッカー・ボギー方式と呼ばれる特殊なサスペンション機構を採用しています。更にサンプルを採取する際に使用する、スカラ型のアームを搭載しています。

今回の実験では、走行性能のほか、地球局から遠隔操作することを想定して新たに開発したセミ自律運用方式の機能も確認しました。



最新の装置を搭載した「トラック」を導入

愛知工科大学自動車短期大学では、他校であまり実施されない「トラックの整備実習」を行っています。

今回、新たに整備車両として導入したのは「UD トラックス コンドル(4 トン)」。乗用車では学べないトラックならではの構造や各装置について学ぶことができます。

新しく竣工した「自動車棟」には、トラック専用リフトも設置され、安全で学びやすい環境が整っています。



スポーツ番組に新たな映像表現をもたらしたことが評価 小沢慎治教授 NHK 放送文化賞を受賞

第 62 回日本放送協会放送文化賞を情報メディア学科の小沢慎治教授が受賞され、6 月 13 日（月）東京都内で行われた贈呈式で表彰されました。

同賞は、放送文化の向上などに功績があった人に贈られるもので、今回は小沢教授をはじめ落語家の桂三枝さん、俳優の富司純子さん、指揮者の外山雄三さんなど 7 人が受賞しました。

小沢教授が開発したのは、カメラを使ってスポーツ選手など動くものを自動識別する画像処理の技術で、サッカーの戦術分析や選手の動きを記録するために開発しました。NHK はこの技術を基に、サッカー中継の際にオフサイドラインを視聴者に示す技術を開発したほか、様々なスポーツ中継においても技術が応用されています。



工学部 情報メディア学科 水谷聡志助教 Society Japan Chapter 学術奨励賞を受賞

昨年 12 月 2 日 (木) ~4 日 (土) にニュージーランドのウェリントンで行われた国際学会「4th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2010)」において、工学部 情報メディア学科 水谷聡志助教が発表した論文「Optimal Maintenance Policy with Interval of Duplex System」が、優れた若手研究者に送られる「IEEE Reliability Society Japan Chapter 学術奨励賞」に選ばれ、6 月 11 日 (土)

首都大学東京サテライトキャンパスにおいて受賞しました。



受賞論文
Optimal Maintenance Policy with Interval of Duplex System

論文内容
高い信頼性が要求されるデータベースなどの情報基盤において、保全活動の前後にのみ二重化として運用するモデルを提案し、保全活動期における故障・トラブルの発生などのリスクを少なくし、期待費用をできるだけ低くおさえるための条件を示した。具体的には、信頼性理論を応用した確率モデルとして構築・定式化し、期待費用の導出、最適保全方策の解析的評価などを行った。



FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿 4時間耐久 ENJOY II クラスで 6 位

8 月 6 日 (土)、鈴鹿サーキットで開催されたソーラーカーレースに本学のソーラーカー部が参戦し、ENJOY II クラスで 6 位と健闘しました。

当日の天候は、晴れたり曇ったりで、ソーラーパネルの発電量は 0.9~3.2A と昨年よりも若干多く、まずまずのソーラーカー日和となりました。

今年の車両は、昨年よりもおよそ 10% 軽量化に成功しましたが、若干カウルの強度が弱く、レース前の車検終了 1 時間前まで、補強作業が行われました。

レースは、ENJOY I・II クラスの 41 チームが午前 7 時~11 時の 4 時間にわたって走行しました。

レース開始から 2 時間ほどは曇り空で、太陽電池の発電量が 1A 前後と昨年並みであったため、不安を抱えての走行でしたが、後半に天候が回復。心配されたトラブルもなく無事 4 時間を走行しました。

結果は、昨年よりも 1 周多い 32 周を走行。今年は、バッテリー残容量を測定する装置を開発して搭載していましたが、

精度の確認データが取れず、残り 2 周でベストラップが出るなど、バッテリーを 13% 残す形で終了しました。ペース配分を考えていればあと 2 周多く走行できたのではないかとわれ、少し悔いが残る結果となりました。

「この結果を踏まえ、来年の課題として更なる上位入賞を目指したい」との声も聞かれ、次回の活躍が期待されます。

応援にかけつけてくれた OB の皆さん、御声援ありがとうございました。



ラグーナ蒲郡でパフォーマンスを披露

パフォーマンス同好会の坂口豪志さんが、6 月 26 日 (日) ラグーナ蒲郡で行われたイベント「つなご縁 at ラグーナ蒲郡」でパフォーマンスを披露しました。

フェスティバルマーケット 1 階のイベントスペースに集まった多くの観覧者の前で、得意のアニメーションダンス

を披露。奇妙な身体の動きに会場はどよめき大いに沸きました。

さらに、「皆さんも一緒にやってみましょう！」とミニレクチャーも開催し、会場が一体となったパフォーマンスは、たくさんの良いご縁が生まれ、人と人がつながる楽しいステージでした。



学生と市民との交流 市民イベントへ積極的に参加

「福寿稲荷ごりやく市」

蒲郡市商店街では、春と秋の年6回、中央通りを歩行者天国として「福寿稲荷ごりやく市」を開催しています。このイベントは、「蒲郡TMO事業」のひとつで、中心市街地の活性化を目的としています。

食べ物などの露店やボランティア団体、NPOなど50前後のテントが並ぶほか、大道芸や鼓笛隊、太鼓パフォーマンスなど、楽しいイベントも毎回行われ、多くの市民が集います。

「森の文化祭」

4月29日(祝)、蒲郡市のさがらの森で開催された「第11回森の文化祭」に学生会が参加しました。

“愛知工科大学&桜丘高等学校地域活動部”のコラボ企画で出展した「バイオディーゼルでわた菓子」は、行

4月24日(日)、5月22日(日)の「福寿稲荷ごりやく市」には、本学のフリーダム研究部、FRC同好会、パフォーマンス同好会、ロボ部の学生たちが参加し、「わた菓子」「スーパーボールすくい」「輪投げ」などを出展したほか、パフォーマンス同好会の学生たちが大道芸を披露。多くの子供たちで賑わいました。

また、ものづくり工作センターによる「日用品の故障診断」もたいへん好評でした。

列ができるほどの人気でした。

また、学生会として「手づくりマクロレンズ」も出展。ミニ顕微鏡を子供たちと一緒に作りました。

1,000名を超える来場者が森の中で自然の素晴らしさ、楽しさを満喫しました。



福寿稲荷ごりやく市



森の文化祭

学内で浴衣の着付け体験教室

7月19日(火)、「着物専科はな」伊藤わかよ先生をお招きして浴衣の着付けを習いました。

シュークリーム同好会の女子学生を中心に、着付けに興味のある男子学生も参加しました。

今回初めて浴衣を自分で着る学生も

おり、帯の結び方に苦戦する姿も見受けられましたが、気さくな先生のおかげで楽しく和やかな時間が過ごせたようです。

浴衣を着た女子学生からは、「これから夏祭りや花火大会に自分で浴衣を着て出かけたかった」との声も聞かれました。



2級自動車整備士・1級自動車整備士 自動車整備士登録試験 今年も高い合格率

2級自動車整備士および1級自動車整備士の登録筆記試験が3月20日(日)に実施され、4月5日(火)に合格発表がありました。2級ガソリン自動車整備士/2級ジーゼル自動車整備士[筆記]<実技免除>、1級小型自動車整備士[筆記]<実技免除>ともに全国平均を大きく上回る合格率となりました。

また、1級小型自動車整備士[筆記]合格者は5月8日(日)に口述試験を受験し、全員合格となりました。

試験結果

愛知工科大学自動車短期大学

○2級ガソリン自動車整備士[筆記]
受験者 134名 合格者 133名
合格率 99.3% (全国平均 84.6%)

○2級ジーゼル自動車整備士[筆記]
受験者 133名 合格者 130名
合格率 97.7% (全国平均 92.0%)

愛知工科大学 (1級自動車整備士養成課程)

○1級小型自動車整備士[筆記]
受験者 16名 合格者 10名
合格率 62.5% (全国平均 22.8%)

○1級小型自動車整備士[口述]
受験者 10名 合格者 10名
合格率 100% (全国平均 98.9%)

スズキ株式会社および愛知県内スズキ販売会社による スズキ技術講習会を開催

今年度、新たに実習車両として導入したスズキ・スイフトなど 6 台を使用し、8 月 3 日 (水) にスズキ技術講習会を本学の自動車棟で行いました。

今年で 4 回目となる講習会は、故障診断の講義並びに新しい技術について、企業担当者から説明を受けるものです。

講習会には、学生約 50 名と教職員が参加し、スズキで活躍する卒業生から診断機による診断方法などの説明を受けました。スズキにおける最新の整備機器を使った整備方法などは、自動車業界における実践的な整備技術を学ぶ、大変貴重な機会となりました。



ハイブリッドカーや電気自動車の整備のための 「低圧電気取扱業務特別教育」特別講習会

ハイブリッドカーの普及に伴い、整備にあたって特有の整備技術を修得する必要性が高まっており、特に注目されるのが「電気の取扱い」に関する知識です。

ハイブリッドカーに搭載される電源の電圧は 100 V 以上あることから、感電事故が生じると人体が深刻なダメージを受けます。このため、高電圧回路にかかわる点検・整備をする場合には法律によって「低圧電気取扱い特別教育」の受講が義務づけられています。

そこで、本学においても短期大学 2 年生の希望者 113 名を対象に「低圧電気取扱業務特別教育」の講習会を 7 月中旬から 8 月上旬にかけて実施しました。

通常整備を行う車は 12V から 24 V であることから、学生たちは緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。

今後、ますますハイブリッドカーや電気自動車の需要は高まる傾向にあり、今回の講習が実社会で活かされることと思われます。



「蒲郡市生命の海科学館」との連携講座を開催 数式がアートに！ 化石のスクリーンに投影

数式から導き出されたグラフから、アート画像や映像を制作してプロジェクターで科学館内の様々な場所に投影する講座を、8 月 4 日 (木) に行いました。

この講座は、科学技術や理科、数学に対する興味を引き出すことを目的に、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (科学技術振興機構) の助成を受けて行われました。

今回の講座のために、情報メディア学

科の小沢慎治教授 (画像処理) と杉森順子准教授 (メディアアート・映像) がそれぞれの専門分野を活かして共同でソフトウェアを開発しました。近隣の蒲郡・三谷水産・幸田高等学校から参加した生徒たちは、午前に本学でソフトウェアを使って放物線や半球状のカラフルな映像を次々と制作。午後は、科学館の壁や展示物など、思いおもいの場所に投影し、メディアアートを楽しみました。



展示された化石へ投影する高校生



東三河高大連携事業「夏季大学体験講義」

本学の各学科および基礎教育センターが講義を設定し、近隣の高校生に理系大学で学ぶ楽しさを理解してもらおうと、「夏季大学体験講義」を 8 月 4 日 (木) に行い 22 名の高校生が参加しました。

今回は、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」に採択された「数式をアートしよう！」も組み込んだ、19 の講義を開講し、参加した生徒の皆さんから「とても面白かった」と好評でした。



愛知県立幸田高等学校 普通科情報活用コース 3 年生 大学に出向き、充実の設備で体験授業

幸田高等学校の 3 年生 37 名が、高大連携授業として、8 月 8 日 (月) に本学情報メディア学科の講義を受けました。

生徒の皆さんは、パソコンの分解・組立てを通して、コンピュータ内部の構造や動作原理を理解した後、データ伝送からインターネットの仕組みまで、ネットワークに関する基礎的技術を体験しました。

また、授業後の設備見学では、マルチメディア実習室やコンテンツ制作スタジオ、高度交通システム研究所などを見学。ドライビングシミュレータも体験しました。

高等学校で学んでいる情報技術が、大学ではどのように専門的に学ぶかなど、高校生たちにとって情報活用についての視野が広がる良い機会となったようです。



武豊町「はやぶさ帰還カプセル展」に出展 深宇宙探査機や月面ローバの研究成果を紹介

愛知県武豊町で「はやぶさ帰還カプセル展」が 8 月 4 日 (木) ～7 日 (日) に開催され、同町からの依頼を受けて電子制御・ロボット工学科と宇宙システム研究所が研究成果を紹介する展示を行いました。

小惑星イトカワからのサンプルリターンに成功し、7 年ぶりに地球へ帰還した「はやぶさ」によって宇宙への関心は非常に高く、本学の展示エリアにも多くの方が訪れました。

本学が製作を担当し、昨年 5 月に金星への打ち上げに成功した深宇宙探査機「UNITEC-1」や、JAXA との共同研究で

開発している「月面ローバ」の展示など、子供から大人まで興味津々の様子で、学生に説明を求める姿も見られました。



被災地の中学校へ向けてロッカーを発送

今年 3 月に発生した東日本大震災被災地の学校が必要とする支援を円滑に行うため、文部科学省のホームページに開設された「東日本大震災子ども学び支援ポータルサイト」。本学では、被災した学校に少しでも支援ができればと、

提供できる机、椅子、ロッカー等学校用備品の支援登録をしました。

これに対し、宮城県大崎市立古川東中学校から清掃用具用ロッカーの提供要請があり、9 月 12 日 (月) トラックにロッカー 10 台を積み込み、送りました。

古川東中学校は、津波による被害は無かったものの、地震により校舎が傾くなどの被害が出たとのこと。

本学から送られた備品が少しでも復興に役立てばと思います。

オープンキャンパスは学生ボランティアが活躍！

6 月、7 月、8 月、9 月に計 6 回開催された夏のオープンキャンパス。研究室の紹介や講義補助などで、各日とも約 100 名の学生がボランティアで参加し、学生の立場から高校生にアドバイスをしてくれました。特に受付などを手伝ってもらった学生ボランティアの方たちは、朝早くから学内の掲示や飾りつけ、キャン

パスツアーの案内、後片付けまで、指示を待つことなく積極的に動いていただきました。

高校生には、学生と教職員との距離が近い本学の魅力が、とてもよく伝わったことと思います。

お手伝いをいただいた皆さん、ありがとうございました。



研究室訪問

— 電子制御・ロボット工学科 大西正敏研究室 —

人間を支援する多くの自動機械や知能機械に近年の飛躍的進歩を遂げたコンピュータ技術や電子制御技術を取り入れたロボット技術は現代社会に無くてはならない存在となっています。種類も一般的な工業支援する産業ロボットから生活支援するサービスロボット、そして特殊環境向けロボットまで多くのロボットが人類に大きく貢献しています。

大西研究室では、こうしたロボット技術について、様々な観点から主に以下の研究に取り組んでいます。

1. 歩行ロボット

移動ロボットのバランス感覚や視覚に相当する各種センサ技術を用いた判断機能の研究や移動機構に必要な新たなアクチュエータ構成ならびに運動機構制御などの研究。



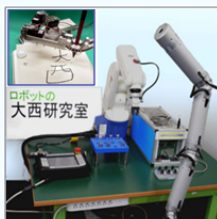
2. 移動ロボット

GPS、ジャイロセンサ、方位センサ、障害物センサ等を複合的に用いて目的地に自律走行させるロボット、会話や指示動作を兼ね備えた案内ロボットの基礎研究。



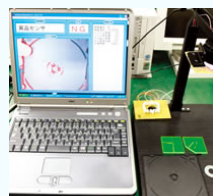
3. 多関節型ロボット

生産工場等で用いられるアームロボットの自動制御や特殊環境向けのアームロボットの運動機構と自動制御の研究をはじめ、学生による手づくりアームロボットなども研究。



4. カメラ画像処理技術を用いたロボット

デジタルカメラによる画像処理技術を用いて移動ロボットの自律走行の実現や製品表面の異常検査への適用などの研究。

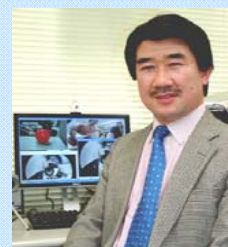


Profile

大西正敏
教授・博士 (工学)

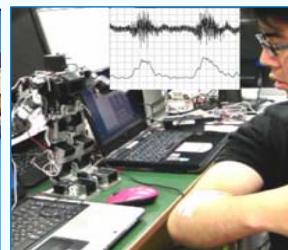
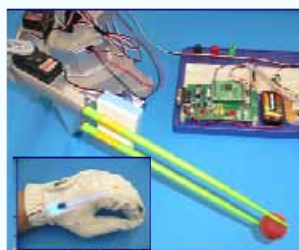
[専門] ロボティクス
メカトロニクス
機械設計製図

[経歴] NTT電気通信研究所



5. 福祉・介護ロボット

手足が不自由な障害者向けの支援ロボットとして、光ファイバ曲げセンサや身体移動センサ等を用いた把持支援装置の研究や人間とロボットのインターフェイスとして人体の節電位を利用してロボットを作動させる研究をベースとした身体障害者向け支援ロボットや、リハビリ医療器への基礎研究。



6. 飛行船ロボット

小型飛行船による上空からの環境モニタリング用ロボットの研究。



教授からひとこと

大西研究室では、幅広いロボット技術の基礎研究から実用面を考慮したロボットの応用研究まで取り組んでいます。学生のアイデアや創造力を活かし常に新しいロボットの姿を追い求めています。

これからロボットを研究したいと考えている学生には、その夢を実現できるように指導しています。また、学外の方々からのロボット技術の要望にも随時対応しています。

興味のある方は、ぜひ研究室をお尋ねください。

平成 23 年度(後期) 行事予定表

※学内における諸事情により、予定を変更することがあります。

短大

	行事	日程
10月	1年 就職模試①	7日(金)
	教育懇談会	11日(火)～21日(金)
	大学祭	15日(土)、16日(日)
	1年 健康診断	28日(金)
11月	1年 CS教育講座	4日(金)
	1年 学内企業説明会(座談会)	25日(金)
12月	1年 就職模試②	9日(金)
	1年 中古車査定士試験	14日(水)
	電波学園 60周年記念事業のため 休講	15日(木)
	2年 成績発表	16日(金)
	学生冬期休業	24日(土)～
1月	学生冬期休業	～8日(日)
	1年 就職活動調査①	20日(金)
	1年 定期試験	31日(火)～
2月	1年 定期試験	～6日(月)
	1年 成績発表	9日(木)
	1年 販売士試験	15日(水)
	2年 卒業判定結果発表	23日(木)
	1年 学内企業説明会①	28日(火)
	1年 学内企業説明会②	29日(水)
3月	卒業証書・学位記授与式	14日(水)
	整備士登録試験	25日(日)

大学

	行事	日程
10月	教育懇談会	11日(火)～21日(金)
	大学祭	15日(土)、16日(日)
12月	電波学園 60周年記念事業のため 休講	15日(木)
	学生冬期休業	24日(土)～
1月	学生冬期休業	～8日(日)
	定期試験	30日(月)～
2月	定期試験	～6日(月)
	4年 卒論提出期限	6日(月)
	4年 予稿集原稿期限	10日(金)
	成績発表	13日(月)
	4年 卒業研究発表会	17日(金)
	1年 学内企業説明会①	28日(火)
3月	1年 学内企業説明会②	29日(水)
	グループ研究報告会	6日(火)
	卒業判定結果発表	7日(水)
	卒業証書・学位記授与式	14日(水)

大学院

	行事	日程
10月	大学祭	15日(土)、16日(日)
12月	電波学園 60周年記念事業のため 休講	15日(木)
2月	修士論文審査願提出期限	9日(木)
	修士論文発表会	21日(火)
3月	卒業証書・学位記授与式	14日(水)

AUT INFORMATION

お知らせ

学務課

○平成23年度教育懇談会

教育懇談会は、本学と保護者との連携のもとに相互理解を深め、学生への指導に役立たせるため実施しています。

本年は、7月2日(土)～18日(月)の間に富山、高山、長浜、石垣、金沢、福井、長野、松本、飯田、静岡、浜松の11会場で実施し、大学院、大学、短期大学あわせて75名の保護者が出席されました。懇談会の中では、教育費・交友関係・日頃の生活態度など、様々なお話をすることができました。中でも、昨今の社会情勢をふまえ就職に関する質問が多くありました。また、東日本大震災による防災意識の高まりから、地震対策に関する要望等もありました。

なお、本学を会場とした教育懇談会を

10月11日(火)～21日(金)までの間に実施します。10月15日(土)、16日(日)は大学祭も開催していますので多くのご参加をお待ちしています。

○奨学金等実績 (8月31日現在)

昨年度より、本学卒業生の子弟、およ

び在学生の兄弟・姉妹の方が入学された場合に奨学金を給付する制度(ファミリー奨学制度)を設けました。

現在の奨学金等の給付および貸与状況は、以下のとおりです。

奨学金等の種類	大学院	大学	短期大学	
日本学生支援機構奨学金	第一種	1	5	11
	第二種	0	54	26
学校法人電波学園奨学金(恒学基金)	0	2	3	
授業料免除	0	7	4	
教育ローン利子補給奨学金	0	0	2	
ファミリー奨学金	—	1	7	
学修奨学金	—	4	4	

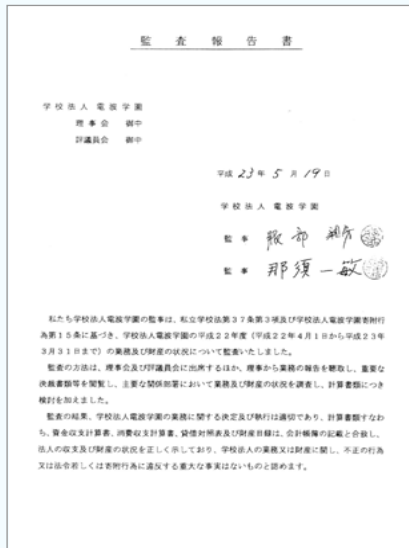
東日本大震災に伴う義援募金のお礼

本学では、学生及び教職員に義援金を募り、学校法人電波学園本部を通じ、愛知県に166,439円を送金しました。学生及び保護者の皆様のご厚志に心から厚くお礼申し上げます。

事務局

愛知工科大学および愛知工科大学自動車短期大学は、文部科学省所管の大学法人であることから、私立学校法を遵守することを基本としています。

平成22年度決算が承認されたことから、この法令に基づいた財務状況についてお知らせをいたします。



【資金収支計算書】 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位:千円)			
収入の部			
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
学生生徒納付金収入	4,713,349	750,075	295,646
手数料収入	53,355	11,117	4,367
寄付金収入	28,849	3,320	2,363
補助金収入	480,640	67,205	21,471
資産運用収入	1,298,491	166	1,525
資産売却収入	4,097,994	0	0
事業収入	545,079	55,599	33,053
雑収入	347,008	9,065	7,119
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,871,715	153,388	103,622
その他の収入	6,739,007	112,642	42,942
資金収入調整勘定	△ 2,068,456	△ 161,956	△ 99,533
前年度繰越支払資金	10,610,060	700,540	636,850
収入の部合計	28,717,071	1,701,181	1,049,425
支出の部 (単位:千円)			
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
人件費支出	5,116,979	828,480	295,638
教育研究経費支出	758,230	154,124	84,797
管理経費支出	1,187,374	141,071	69,185
借入金等返済支出	227,456	0	0
施設関係支出	2,127,833	0	0
設備関係支出	359,684	78,900	138,150
資産運用支出	3,238,995	0	0
その他の支出	6,682,831	118,957	60,456
資金支出調整勘定	△ 904,791	△ 21,138	△ 8,269
次年度繰越支払資金	9,922,480	693,437	578,279
支出の部合計	28,717,071	1,993,831	1,218,236
【消費収支計算書】 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位:千円)			
収入の部			
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
学生生徒納付金	4,713,349	750,075	295,646
手数料	53,355	11,117	4,367
寄付金	30,295	4,786	2,363
補助金	480,640	67,205	21,471
資産運用収入	1,298,491	166	1,525
資産売却差額	207,763	0	0
事業収入	545,079	55,599	33,053
雑収入	440,072	9,107	7,119
附属収入合計	7,769,024	898,035	365,544
基本金組入額合計	△ 634,124	0	0
消費収入の部合計	7,134,900	898,035	365,544
支出の部 (単位:千円)			
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
人件費	4,765,475	826,872	295,292
教育研究経費	1,418,745	297,946	134,249
管理経費	1,327,566	154,720	71,008
資産処分差額	1,989,864	0	0
徴収不能額	6,239	646	0
消費支出の部合計	9,507,889	1,280,184	500,549
当年度消費収入(支出)超過額	△ 2,582,756	△ 382,149	△ 135,005

注 △表示は、マイナスを意味する。

基礎教育センター

本年度前期に、新しい試みの課外授業として、1 年生対象の「生活数学」、3 年次編入生対象の「微分積分特別授業」を実施しました。生活の道具として数学に馴染み活用できることや、微積の知識を活かして専門科目の理解を容易にすることが期待されます。

学生諸君の学習支援については、基本的には個別指導の形式で行います。

内容は数学・物理・英語など基礎科目が主ですが専門科目にも対応しています。1、2 年生を中心に毎月大勢の学生が利用しています。平均的に一人 50 分程度の時間を掛けて個々人の学力・知識レベルに合わせて指導しますので、学習の消化不良を起こすようなことはありません、安心して訪れてください。皆さんが自主的に、熱心に基

礎学力向上と知識の習得に努めています。

講義について行けなくて学習に不安感を持つ人、また、さらに高度で深い内容を進んで学習したいと思う人も大歓迎です。できるだけ多くの学生諸君に当センターを気楽に利用していただきたいと願っています。

地域・産学連携センター

地域・産学連携センターでは、諸団体(小学校、中学校、高校、専門学校、地域公共団体、地元企業など)からの要請を受け、講演・講義・講座など教育活動の相談に乗る窓口の役割を果たしてきております。また、企業の方を中心として、技術相談・共同研究のお世話をしております。

7 月 27 日(水)に蒲郡商工会議所を

会場として蒲郡技術科学振興会(蒲郡市、蒲郡商工会議所、蒲郡鉄工会、蒲郡市教育委員会、愛知工科大学)の第 13 回公開講座にて愛知工科大学から 3 件の講演をいたしました。

服部幸廣准教授による「2 次元噴流を用いたプッシュプル完全局排装置」、大竹才人准教授による「エネルギー事業の新展開」、村上新教授による「ダイナ

ミックダンパーの原理と応用」を行いました。一般の方々にも理解できるような平易な説明で、分かりやすく、大変好評でした。これを機会として、大学と企業との共同研究の話も出てきそうです。

講演の依頼や技術相談、共同研究などお気軽にご相談ください。当センターの徳田が対応させていただきます。

図書館

○幸田町図書館連携事業

7 月 28 日(木)、夏休み理科教室「くだもの電池をつくろう!」を開催しました。

講師:自動車工業学科教授 橋本孝明
同学科助教 長谷川康和

○蒲郡市立図書館連携事業

7 月 30 日(土)、夏休み工作教室「作って遊ぼう!昆虫ロボット」を開催しました。

講師:自動車工業学科教授 橋本孝明
蒲郡少年少女発明クラブ指導員 尾崎勝

○第 13 回 AUT 文化講演会

9 月 8 日(木) 15 時より、AUT ホールにおいて第 13 回 AUT 文化講演会を開催しました。

講演テーマ 甲冑着用法と試着体験
講師 甲冑師 横田嘉明氏

○平成 23 年度新着図書

平成 23 年度新しく約 210 点の資料を受入れました。工学関係の資料の他、吹奏楽の楽譜などもあります。ご利用下さい。

なお、図書館では受入希望資料のリクエストを受付けています。複写機横に設置したリクエストボックスに希望資料名等を記載した用紙を投函してください。

ものづくり工作センター

当センターは平成 19 年発足以来、本年 7 月で活動 5 年目を迎えました。

当初より、「研究からホビーや部活まで、各種の“ものづくり”支援」を合言葉に、本学での卒業研究・サークルや部活動での支援と並行して、更に広く地域社会に開かれた「ものづくり工作センター」を目指して活動を展開してきました。機械加工室では、旋盤・フライス盤・ボール盤・コンターマシン(帯のご盤)等が設置され、手軽に金属等の機械加工ができます。木工加工室では、帯ノコギリ盤・糸ノコギリ盤・電動ノコギリ等が

あり、木材の加工が簡単にできます。電子工作室には、各種電子計測器が取り揃えてあり、電子工作が気軽にできます。

平成 23 年度は当センターのレパトリーを従来の「機械加工及び電子工作」から更に「光学機器」製作にも展開すべく活動を続けています。

平成 23 年度の活動計画として以下を予定しています。

- ・蒲郡商工会議所にて「機械加工技術」の出張講座支援。

- ・AUT 祭(大学祭)における「3 次元ものづくり体験」支援。
- ・蒲郡市「ごりやく市」への出展支援。
- ・光学機器により天体追尾装置製作への挑戦。
- ・ものづくり体験講座

1 号館 1 階 1107 室にて、当センタースタッフ一同、皆さんのご利用をお待ちしています!!

メディア基盤センター

○放送設備をデジタル化

テレビ放送の完全地デジ化にあわせて学内放送設備のデジタル化対策を実施。このことにより、オリエンテーション中継などの学内放送も全てデジタルへと移行されました。

○センター内 LL 実習室の設備を更新

LL 実習機器の老朽化に伴い機器の入れ替えを行いました。今回の更新では、汎用 PC+語学講義用ヘッドセットの構成にした設備を導入し、情報系の実習にも活用できるようになりました。

メディア基盤センターヘルプデスクではパソコンの修理、ネットワーク接続などのサポートを行っています。大学幹線ノートパソコンの修理受付、持ち込みパソコンのキャンパスネットワークへの接続申請もヘルプデスクで受け付けていますのでご利用ください。

上記に限らず、ヘルプデスクではキャンパス内でのパソコンやネットワークの運用を総合的にサポートしています。操作方法や設定方法、トラブル対処法、



機器が更新された LL 実習室

Windows OS のアップグレードなど、お気軽にご相談ください。

キャリアセンター

～ 全学科にキャリア教育を導入 ～

厳しい雇用環境が続く中で、学生が生涯を通じて、持続的な就業力を身につけ、人生を幸せに生き抜くことを目的に、工学部の全学科にキャリア教育「キャリア形成と職業」を正科目として導入しました。1年次では、なりたい自分「目標」と今の自分「現状」を正確に認識し、どうしたら現状から目標へとたどり着けるのか、そのための手段や道筋を論理的に考え、自己実現に向けての行動計画を作成します。

2年次では、専攻分野と社会との関わりを考え、社会で求められる基本スキル（情報収集力、思考力、コミュニケーション力、遂行力）を高める手法を学びます。3年次では就職活動に向けて、自己分析を深め、業界・職種・企業研究からエントリーシートを作成し、採用試験合格のために必要な筆記試験や面接試験の対策を行ないます。プログラムは「進路支援アセスメント+個人面談+講義・演習」で構成されグループワークとプレゼンテーションを通じてコミュニケーションの基本となる“聴く力”“伝える力”を養います。

短期大学自動車工業学科は、自動車産業に特化したキャリア形成を目的にいち早くキャリア教育「就職対策講座」を正科目として導入しております。メーカーによる講演、最新整備技術の研修、CS (Customer Satisfaction = 顧客満足) 活動の推進、ビジネスマナーの習得、卒業生との座談会など、産業界との交流を通じて、メカニックやエンジニアに期待される資質の向上を図り“仕事のセンス”を養います。

本学のキャリア教育は、専任教員と専任職員の協働による、全学的な取り組みとしていよいよスタートしました。

Campus festival

AUT祭 10月15日(土)・16日(日)

大学祭のご案内

テーマ「維新堂堂」

楽しいイベントが盛りだくさん。今年も市民と一体になって2日間を楽しみます。ぜひ、お問い合わせのうえお出かけください。

AUT文化講演会 10月15日(土)

場所：AUTホール(無料)

第1部 13時00分～14時00分

テーマ：脱原発に向けた再生可能エネルギーとは

講師：機械システム工学科 准教授 大竹 才人

第2部 14時00分～15時00分

テーマ：蒲郡の文化あれこれ

講師：自動車工業学科 教授 橋本 孝明



イベント情報

芸人音楽ライブ「RSP、シュビドゥバ」(10/15)、和太鼓演奏(10/15)、吉本お笑いライブ「鉄拳、オレンジ」(10/16)、キッズダンス(10/16)、ロボットダンス(10/16)、自転車パフォーマンス(10/16)、軽音ライブ、吹奏楽部演奏会、学科展、研究室・実験室公開、ひろはまかずとし作品展、陶芸作品展、蒲郡歴史写真展、こども祭り(金魚すくい、ヨーヨーつり、わた菓子など)、模擬店(焼きそば、たこやき、フランクフルトなど)、フリーマーケット、赤い電車応援イベント、ミニ電車の乗車(パノラマカー)、ECO抽選会 など